

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市中区新栄一丁目22-18

TEL 052-262-1377

発行人 阿部 精 六

第 2 号 1990年1月16日

90春闘勝利・総選挙必勝へ!!

愛 労 連 臨 時 大 会

◇日 時 2月2日(金)午前10時～午後5時

◇場 所 愛知県勤労会館小ホール



45歳、勤続30年
基準内賃金292,120円
(残業月29時間で
手取り約30万円)

子供の教育費で大変

母ちゃんの分が(パート)吹っ飛ばす

'90春闘へ

誰もが二万円上って当然

腹をくくってたたかいたい

「日本人は豊かになった」、「世界一の金余り国だ」とよく言われる。確かにニューヨークやロサンゼルスの高層ビルからアメリカの伝統ある映画会社まで買収する。ゴッホやピカソの絵を途方もない額で落札する。国内では何百万もする黄金の冷蔵庫や何千万円もの福引袋が売れていく……こんな姿をみると「そんなのか」とも思う。しかし、本当に私達は豊かなのだろうか？ 国を支え、企業発展の土台となっている圧倒的多数の労働者の生活は、それにふさわしい中味になっているのだろうか？ 九〇春闘を前に一人の労働者にスポットをあてて考えてみたい。

亭主の小づかい一万円

ラジカセで息子とけんか

中嶋義雄——四十五才 占める中小企業で働く一平津島市にある一町工場に勤めている(鈴木鉄工所) 均的な労働者、オヤジだ。中嶋さんは中学を卒業すると同時に今の会社へ入社 勤続三十年のベテラン旋盤工だ。 中嶋さんの月収は基準内賃金で二九二、一〇〇円。父、祖母の七人である。日「残業を毎月二十八時間、本の労働者の圧倒的多数を 二十九時間やって、手取り

中嶋

義雄さん

(鈴木鉄工所勤務、旋盤工、妻、浪人生の長男、高一の二男、中一の長女、祖父、祖母の七人家族)

が約三十万円である。 浪人している長男は、今 河合塾へ通い勉強強、月謝は年間七十万円。二男は県立高校へ通っているが修学旅行の積立て含め月一万三千円、中一の長女はクラブ活動含めて月一万円かかると。 亭主の小づかいは一万円しかありませんよ」

「昨年末のボーナスの手取り六十二万円もすべて大学の入学金の準備で消えまして」「家のローンがないのがせめてもの救い」である。 三人の子供を持つ中年のオヤジにとって教育費の負担はしんど響く。「浪人の息子は、どうしても国立へ行ってもらわなければ困りますよ。名工大志望ですが今のところ合否は五分々の可能性らしい。もしすべったら本人は「私学へ行きたい」と言っています、とても無理だから「働いて夜間で我慢をせよ」と言うつもりです。長男が行くのが次々と伝わってくる。

「五年程前は、毎年一泊二日の家族旅行をしていました。しかし、息子が高校へ入ると同時にそれも出た」 「この前、高一の二男が「クラスで合唱の責任者をやっているの、どうしてラジカセが欲しい」とねだりました。息子は「五万円のを買ってくれ」といい、私は「一番安いのにしておけ」と店先でチョットした言い争いもしましたね結局一万七千円に我慢させました。」「つらい時は同僚から「今日一杯行こう」と誘われる時です。」「よし、」と言えなくてねえ……生活の重みが次々と伝わってくる。

夏の残業で体調を崩すが

残業なくては生活できぬ

中嶋さんは、「毎年八月になると決まって胃が痛くなり心臓の調子もおかしくなる」と言う。症状は十二月まで続く。暑さで夏の残業がこたえるのだそうだ。

「しかし、残業がなくなったらとても食っていけないしねえ。その時は夜にアルバイトせざるをえませんよ」 「今、一番の不安は家族で誰かが病気になることです。よ。いっばい々の生活ですから、もし誰かが倒れたらくらしの歯車が狂ってしまします」 「中流って、とんでもない。他人事です。よ。年収一千万円以上の人があることですよ。馬鹿馬鹿しい」 そう語る言葉に実感がこもる。

大事な地域ぐるみの闘い

ゆとりが 徳高へ登りたい……

昨年一番腹がたつたのは「消費税」ときっぱり言う。 「今の政治はサカサマです。大企業は笑っているのに庶民は泣いています」。

「私の勤めている会社は工作機械メーカーの下請けです。五年間で下請け単価が三割も下りましてね。」「なんとかして欲しい」と頼むと親会社は「嫌なら仕事を引き上げる」と言う。泣き泣きひきさがらしかありません。大企業の横暴を抑えないことには、中小下請企業の大幅賃上げや労働時間の短縮は簡単ではありませぬ」 怒りと悩みがおり混じる。

「九〇春闘は誰もが三万円位上るようにはしたいですね。一万円程度では上った気がしませんよ」 「そのためには組合がまず、ヤル時はヤル」 「腹をくくってたたかう」 ことが力ギだと思えますよ。」「それに労働組合だけの春闘でなく地域ぐるみの闘いが大事ですね。」「大きな会社だけがボロもつけをしているのでなく、労働者や中小企業にまわす」 「そんな世論をつくらなくては……」。



「愛労連にはどいつも期

労働者・国民の要求を結集し がちとろろ大巾賃上げ・消費税廃止!

「人間らしい生活」の実現をめざす90国民春闘

愛労連方針(案)

1、90国民春闘で

求められているたたかい

● 全労連・愛労連が結成されて、はじめての90国民春闘です。

● 90国民春闘では、大幅賃上げ、労働時間短縮をはじめとする要求を実現するために、政府・独占資本の賃金抑制政策とこれに同調している「連白」などの労働者を打ち倒すための闘争を構想することが必要です。

● 消費税率、年金・医療制度改訂反対など、労働者・国民の切実な要求、課題の集約を、広範な主体団体・労働組合との大きな共同行動へと展開してまいります。

2、90国民春闘を

とりまく情勢の特徴

● 労働者・国民のいのちとくらしは深刻な状況

● 八六年から始まった好景気は、神武景気を上回る高インフレに迫りつつあり、賃上げが追いついていない状況です。

● その反面、労働者・国民の生活を脅かすような政策が相次いで実施されています。

● 大企業現場では、人々を苦しめかねない「合理化」・「労働強化」の進行による過労死が頻発しています。

● 労働者の生活はますます苦しくなっています。春闘でこの数十年來賃上げはほとんど変わっていません。

● この日経連は、こうした労働者の生活実態を無視して、八九春闘では「物価引き下げ」を根拠に賃上げを拒否しています。

4、90国民春闘を

このようにたたかいます

● 時期区分による運動の目標設定

● 一月・三月の春闘前段では、消費税率廃止などの対政府要求、賃上げなどの対企業要求、組合員への政治教育などを実施します。

● 二月・四月は、賃上げ要求の組織化に力をいれたいです。

● 三月・五月は、賃上げ闘争と政策要求の二つの闘争の両方に重点を置いて運動を展開します。

● 三月・五月は、賃上げ要求の組織化に力をいれたいです。

5、具体的にとりくみ

● 賃金闘争など労働条件改善のとりにくみ

● 大幅賃上げについては「統一要求」を基本として、賃上げの生活実態を踏まえて、賃上げの条件をめぐってたたかいます。

● 「賃金抑制政策」による賃上げの阻害を打ち破るため、賃上げの条件をめぐってたたかいます。

● 賃上げの条件をめぐってたたかいます。

3、重点要求と課題

● 大幅賃上げ、全国最低賃金の引き上げ

● 労働時間短縮、残業づけの削減

● 消費税率の廃止

● 年金・医療制度改訂反対

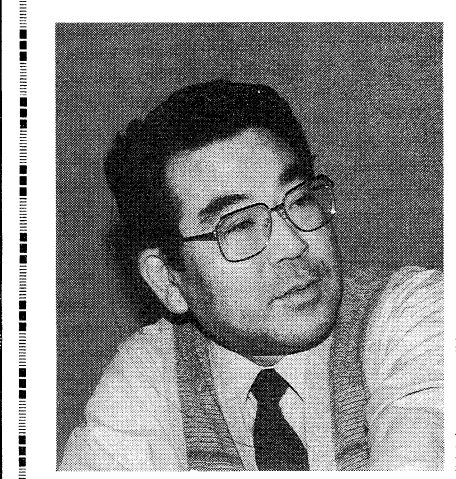
● 労働者の雇用確保

● 労働者の安全を守る



260万労働者、660万国民の闘いへ、広く国民に呼びかける
—新春ピラマキをする刈谷・安城・知立地域センター準備会の仲間 (1月9日早朝、名鉄「知立」駅前にて)

自民の過半数割れで 要求前進の明るい90年代を —総選挙勝利へ向けて— 愛労連はどう闘うか



● 阿部 事務局長に聞く

● 九〇春闘や労働戦線にも大きな影響

● 自民の過半数割れで、要求前進の明るい90年代を

● 阿部 事務局長に聞く

● 九〇春闘や労働戦線にも大きな影響

● 自民の過半数割れで、要求前進の明るい90年代を

職場・地域で政治の風吹かそう

● 政治的な等距離主義ではない

● 要求前進しない

● 自民の過半数割れで、要求前進の明るい90年代を



なごやかな談笑の中にも決意をこめて
愛労連新年旗びらき=1月10日「愛知県労働会館小ホール」

● 政治的な等距離主義ではない

● 要求前進しない

● 自民の過半数割れで、要求前進の明るい90年代を

● 政治的な等距離主義ではない

● 要求前進しない

● 自民の過半数割れで、要求前進の明るい90年代を



総選挙に勝利し、90国民春闘で大きな成果をあげるため
愛労連組合員一人ひとりが総力をあげ闘いぬいて

お父さんの姿が消えていく…

家ではあてにならなくなった



一緒に夕食をとる日がほしい

夜勤の時はイライラする主人

40代なのに体はボロボロ

(家庭からの)告発

井料妙子さん(41歳)

カロシ(過労死)という言葉が、国際語になった。超過密労働、ただ働きが史上最高とも言われる好況の陰に隠れてまかりとおっている。とくに民間、大企業職場に多い。それは又「連合」の牙城でもある。大企業職場の労働実態はどうなっているのか? 愛労連は、民間とりわけ大企業職場の「超過密労働、ただ働き、無権利、過労死」問題に正面からとりくむ方針を提起している。愛労連結成以来、大企業職場の労働者との懇談もはじまった。アルミ精錬のトップメーカーであり、名古屋の代表的独占企業の一つである住友軽金属名古屋工場に働く井料正行さん(四十八才)の奥さん、井料妙子さん(四十一才)に、「妻の目」「家庭の目」からみた姿を語ってもらった。あわせて、御主人からは職場の実態について談話をいただいた。



井料妙子さん(41才、共働き。中2の長女、中1の長男の4人家族)

三直二交代で 土曜、日曜も 関係ない

主人は住友軽金属名古屋工場に勤めています。昭和三十四年が入社ですから、もう三十年間になるんです。仕事はアルミの熱処理をしています。

最近、お父さん(主人)の姿が家庭で消えてしまってきているんですよ。主人の勤務は三直二交代、三日間夜勤、三日間日勤、三日間

休みの勤務です。時計の振子のように土曜、日曜も関係なくくり返しているんです。

お父さんがい

いつも残業がありますので、昼勤の時は朝六時半に家を出て帰宅するのは夜九時半、夜勤の時は夕方七時半に出て朝帰るのは九時半頃です。私も共働きで看護婦(日本赤十字病院勤務)をしていますので、子供の生活です。何か相談しようとしてもすべし出来ないので、一緒にいてもあてにならなくなりましたね。

り前の生活に

子供達もお父さんがいないのがあたりまえになり、たまにいとけむたがりです。父さんがいなくても寂しくなくなってきたんです。それでもまだ父さんの言うことは、子供もきくだけは救いなんですけどね。土曜、日曜も関係ありませんし、休みに家庭で遊ぶ計画をたてることも出

来ません。もう家では「あてにならないお父さん」になりました。夜勤の時は、主人はムツツリしています。神経がイライラしているのがよくわか

新婚時代と逆 山登りしても すぐ息切れる

来ません。もう家では「あてにならないお父さん」になりました。夜勤の時は、主人はムツツリしています。神経がイライラしているのがよくわか

ああいいう仕事(熱処理)は本来夜勤なんかやらなくてもいいんじゃないですか。夜勤や残業がいつもあるのが間違ってる

夜勤の二交代なんて非人間的ですよ。家庭生活も崩壊されるし、本人の体はガタガタになるし、それに人間として文化に触れるとか余暇を楽しむとか、人間を育てる時間が全くありませんものね。

夜勤の仲間が酒量が増える

三年間で十七人が在職死

井料正行さん(勤務・48歳)の証言



井料正行さん

時半まで早出し、そのまま翌朝七時半まで勤務)。夜勤交代の人はきまってる酒が増えるんです。短い時間に寝ないから神経が高ぶるんですよ。

36才で突然死

拘束13時間が恒常化

百人に一人が長欠者

会社のために 耐えよー労組

住友軽金属では、三年前より四直三交代から三直二交代になり、仕事がつづくなりしました(※三直二交代の勤務は、昼勤—七時半から十六時十五分まで勤務の後二十時半まで残業。夜勤—二十時半から二十一

去年の四月二十五日、自主管理運動や改善提案活動で「工場でもトップクラス」と言われた三十六才の仲間が急性心不全で死にました。職場にショックが広がりましたねえ。誰もが「疲れすぎだよ。原因は長時間超過密労働だ」と、瞬間的に思いましたからね。死んだんじゃないかって殺された

病院長欠者も多いんです。網膜はく離、うつ病、心筋梗塞、痔、胃かいようなどが増え、百人に一人の平均で長欠が出ています。たまたに残業がなく早く家へ帰ると女房や子供は、「一体、どうしたの?」っ

組合は「がまんしろ、がまんしろ」の一点張りですよ。過労死なんて、言葉もとり上げていません(※住友軽金属労組の委員長は「昨年の秋の大会で、長過密労働で苦しむ労働者の犠牲に對して「エイズではないが私たちは耐えること、努力することという大きな免疫

人生に一度でいいから、いいから「がんばる組合」を経験したい。人生に一度でいいから、「闘う組合」を経験したいです。だって学校を卒業してずーっといいいい位、住金しか経験していませんからねえ。がんばる組合をみたことがないんですよ。

愛労連には期待していますよ。無権利状態に近い体ガタクタクになって働いている「大企業職場の問題」を愛労連がとりあげてほしいですね。そうすれば、僕達ももっと勇気がわいてくるなあ……。

を武器に皆さんの力をもう少し企業に貸して欲しい」と挨拶した。

人生に一度でいいから「がんばる組合」を経験したい。人生に一度でいいから、「闘う組合」を経験したいです。だって学校を卒業してずーっといいいい位、住金しか経験していませんからねえ。がんばる組合をみたことがないんですよ。

はあたりまえのことじゃないですか。人間らしい生活が望みです